地球温暖化対策報告書（その１）

１　事業者の氏名等

事業者の氏名 （法人にあっては名称及び代表者の氏名）	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義
事業者番号	

２　報告する事業所等の全体の状況（平成21年度）

条例第8条の23第1項報告事業所数	22 事業所	原油換算エネルギー使用量の合計	7,326　kl
条例第8条の23第2項報告事業所数	0 事業所	原油換算エネルギー使用量の合計	0　kl

３　事業者としての取組

取組方針	全社的にビル運営の地球温暖化対策活動を推進するために、「エネルギー管理統括者」と「エネルギー管理企画推進者」のもと、管財物件と開発物件とそれぞれに責任者を配置し、関係部署からなる「省エネ法等自社対応ワーキンググループ」を平成22年1月に立ち上げた。ワーキングの役割は、温暖化対策推進、CO2排出量の削減に関し、業務部門・付属施設と開発事業部門とを含めた全社の組織を見渡した中長期削減計画の作成並びにそのローリングプランとして年度計画の作成及びその達成状況のチェックである。 平成22年度より全社的に削減計画遂行のために5年間で順次、高効率照明等の導入を図るとともに、運用における温暖化対策活動を継続推進する。また、その支援ツールとして全社をカバーするエネルギー消費量集計・評価システムを導入済みであり、消費実態に基づく対策立案に活用する。

組織体制の整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A104	取組状況の点検体制の構築
	A102	温暖化対策推進担当の配置	A106	本社等による支店の支援
	A103	具体的な取組目標と内容の設定	A107	排出状況の整理・分析・提供
	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	A108	組織横断的な推進体制の整備
			A114	温暖化対策優良事例の情報収集
			A115	優良事例の組織内共有体制の構築

４　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義
事業所等の名称	渋谷ゲストハウス
事業所番号	―
事業所等の所在地	〒150－0002 渋谷区 渋谷4-1-12、13
事業所等の延床面積	887.34 m^2
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有　／　事業所等の形態　■ 建物の全部使用　□ 建物の一部使用
日本標準産業分類における細分類番号	6911　／　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 70	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 106	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 106	t

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	279,539.0	9.76	2,728.3	0.382	106.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 2,728.3		⑭ 106.8
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	741.1			0.200	0.1
	公共下水道		■	m^3	741.1			0.450	0.3
合　計									⑮ 0.5

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握					
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
	設備保守対策				
	設備導入対策				

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義														
事業所等の名称	赤坂シグマタワービル														
事業所番号						－									
事業所等の所在地	〒	1	0	7	－	0	0	5	2						
	港区 赤坂2-17-11														
事業所等の延床面積	5,726.00	m^2													
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有	事業所等の形態	■ 建物の全部使用 □ 建物の一部使用												
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当									
前年度の報告内容からの変更点															

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 172	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 261	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 264	t

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	684,696.0	9.76	6,682.6	0.382	261.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 6,682.6		⑭ 261.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,017.0			0.200	1.0
	公共下水道		□	m^3	5,017.0			0.450	2.3
合　計									⑮ 3.3

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握					
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
	設備保守対策				
	設備導入対策				

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義
事業所等の名称	イーストネットビル
事業所番号	－　　－
事業所等の所在地	〒135－0016 江東区 東陽７－１－１
事業所等の延床面積	10,560.68 m^2
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
事業所等の形態	■ 建物の全部使用　□ 建物の一部使用
日本標準産業分類における細分類番号	6911
連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 632	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 942	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 7	t
	総　計（④=②+③）	④ 949	t

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	2,361,712.0	9.97	23,546.3	0.382	902.2
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	104,451.0	9.28	969.3	0.382	39.9
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 24,515.6		⑭ 942.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	11,919.0			0.200	2.4
	公共下水道		□	m^3	11,919.0			0.450	5.4
合　計									⑮ 7.7

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C507	温度計等による室温の把握と調整
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
	設備保守対策				
	設備導入対策				

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義
事業所等の名称	石神井公園ピアレス　店舗
事業所番号	－　　－
事業所等の所在地	〒177－0041 練馬区 石神井町2-14-1
事業所等の延床面積	1,287.00 m^2
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有　　事業所等の形態：□ 建物の全部使用　■ 建物の一部使用
日本標準産業分類における細分類番号	6911　　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 88	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 134	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 134	t

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	352,327.0	9.76	3,438.7	0.382	134.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 3,438.7		⑭ 134.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,015.0			0.200	0.2
	公共下水道		□	m^3	1,015.0			0.450	0.5
合　計									⑮ 0.7

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握					
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
	設備保守対策				
	設備導入対策				

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義
事業所等の名称	鹿島赤坂別館
事業所番号	―　　―
事業所等の所在地	〒107－8348 港区 赤坂6-5-11
事業所等の延床面積	18,834.83 m^2
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
事業所等の形態	□ 建物の全部使用　■ 建物の一部使用
日本標準産業分類における細分類番号	0600
連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 984	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 1,486	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 8	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,494	t

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	3,002,424.0	9.97	29,934.2	0.382	1,146.9
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	887,712.0	9.28	8,238.0	0.382	339.1
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 38,172.1		⑭ 1,486.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	12,367.0			0.200	2.5
	公共下水道		□	m^3	12,367.0			0.450	5.6
合　計									⑮ 8.0

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の照明消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C508	空室・不在時等の空調停止	C505	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C507	温度計等による室温の把握と調整
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E104	照明点灯範囲の細分化
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E110	高効率モータの導入（空調用）

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義
事業所等の名称	DKビル
事業所番号	－（第1桁～第5桁）－（第6桁～第9桁）
事業所等の所在地	〒107－0051 港区 元赤坂1-3-8
事業所等の延床面積	10,861.70 m^2
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
事業所等の形態	■ 建物の全部使用　□ 建物の一部使用
日本標準産業分類における細分類番号	0641
連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 476	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 723	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 728	t

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,892,773.0	9.76	18,473.5	0.382	723.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 18,473.5		⑭ 723.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,824.0			0.200	1.8
	公共下水道		□	m^3	8,824.0			0.450	4.0
合　計									⑮ 5.7

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
				A212	温暖化対策提案制度の導入
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の照明消灯の実施
		C501	不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C503	利用客数の時間帯別把握
				C505	空調機スイッチに空調範囲を表示
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E104	照明点灯範囲の細分化

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義			
事業所等の名称	ペアホースビル			
事業所番号				
事業所等の所在地	〒107－0052 港区 赤坂6-5-16			
事業所等の延床面積	2,755.15 m^2			
所有形態	□ 自己所有 ■ 他者所有	事業所等の形態	□ 建物の全部使用 ■ 建物の一部使用	
日本標準産業分類における細分類番号	0600	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
前年度の報告内容からの変更点				

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 162	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 245	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 246	t

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	643,722.0	9.76	6,282.7	0.382	245.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 6,282.7		⑭ 245.9
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	2,301.2			0.200	0.5
	公共下水道		■	m^3	2,301.2			0.450	1.0
合　計									⑮ 1.5

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握				B103	時間的に詳細に把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の照明消灯の実施
		C501	不使用箇所のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
				C507	温度計等による室温の把握と調整
				C510	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E104	照明点灯範囲の細分化
				E122	給湯の温水配管の保温の実施
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義
事業所等の名称	飛田給研究センター
事業所番号	ー
事業所等の所在地	〒182－0036 調布市 飛田給2-19-1
事業所等の延床面積	24,654.00 m^2
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
事業所等の形態	■ 建物の全部使用　□ 建物の一部使用
日本標準産業分類における細分類番号	0600
連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 614	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 946	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 9	t
	総　計（④=②+③）	④ 955	t

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	29,728.5	45.00	1,337.8	0.014	67.7
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	1,628,400.0	9.97	16,235.1	0.382	622.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	672,500.0	9.28	6,240.8	0.382	256.9
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 23,813.7		⑭ 946.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	15,058.0			0.200	3.0
	公共下水道		□	m^3	15,058.0			0.450	6.8
合　計									⑮ 9.8

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の照明消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義
事業所等の名称	Ｑ－ＤＡＮ１９９１
事業所番号	－　　－
事業所等の所在地	〒102－0071 千代田区 富士見1-12-1
事業所等の延床面積	1,613.79 m^2
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
事業所等の形態	■ 建物の全部使用　□ 建物の一部使用
日本標準産業分類における細分類番号	6911
連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 103	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 156	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 157	t

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	410,556.0	9.76	4,007.0	0.382	156.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 4,007.0		⑭ 156.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,598.0			0.200	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,598.0			0.450	0.7
合　計									⑮ 1.0

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の使用状況の把握					
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
	設備保守対策				
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用		

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義			
事業所等の名称	ＯＪビルディング			
事業所番号	－　　－			
事業所等の所在地	〒106－0047 港区 南麻布2-11-10			
事業所等の延床面積	5,417.00	m^2		
所有形態	□ 自己所有 ■ 他者所有	事業所等の形態	□ 建物の全部使用 ■ 建物の一部使用	
日本標準産業分類における細分類番号	6911	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
前年度の報告内容からの変更点				

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 215	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 326	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 329	t

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	855,306.0	9.76	8,347.8	0.382	326.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 8,347.8		⑭ 326.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,484.0			0.200	1.1
	公共下水道		□	m^3	5,484.0			0.450	2.5
合　計									⑮ 3.6

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握					
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
	設備保守対策				
	設備導入対策				

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義
事業所等の名称	人形町センタービル
事業所番号	―
事業所等の所在地	〒103－0027 中央区 人形町1-4-10
事業所等の延床面積	6,539.57 m^2
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有
事業所等の形態	□ 建物の全部使用 ■ 建物の一部使用
日本標準産業分類における細分類番号	6911
連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 217	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 330	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 6	t
	総　計（④=②+③）	④ 336	t

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	864,772.0	9.76	8,440.2	0.382	330.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 8,440.2		⑭ 330.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,412.0			0.200	1.9
	公共下水道		□	m^3	9,412.0			0.450	4.2
合　計									⑮ 6.1

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握					
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
	設備保守対策				
	設備導入対策				

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義
事業所等の名称	安全ビル
事業所番号	－　　－
事業所等の所在地	〒107－0051 港区 元赤坂1-6-6
事業所等の延床面積	807.08 m^2
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有　　事業所等の形態：□ 建物の全部使用　■ 建物の一部使用
日本標準産業分類における細分類番号	6911　　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 35	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 54	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 54	t

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		■	kWh	142,723.8	9.76	1,393.0	0.382	54.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 1,393.0		⑭ 54.5
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	581.1			0.200	0.1
	公共下水道		■	m^3	581.1			0.450	0.3
合　計									⑮ 0.4

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更		
	設備保守対策				
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義
事業所等の名称	銀座一丁目イーストビル
事業所番号	－　　－
事業所等の所在地	〒104－0061 中央区 銀座1-19-7
事業所等の延床面積	4,987.82 m^2
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有　／　事業所等の形態　■ 建物の全部使用　□ 建物の一部使用
日本標準産業分類における細分類番号	6911　／　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 172	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 277	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 278	t

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	33,827.1	45.00	1,522.2	0.014	77.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	429,006.0	9.97	4,277.2	0.382	163.9
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	95,280.0	9.28	884.2	0.382	36.4
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 6,683.6		⑭ 277.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,674.0			0.200	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,674.0			0.450	0.8
合　計									⑮ 1.1

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
	設備保守対策				
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E105	照明用人感センサの採用

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義
事業所等の名称	亀戸東口駅前ビル
事業所番号	－　　－
事業所等の所在地	〒136－0071 江東区 亀戸6-57-20
事業所等の延床面積	838.99 m^2
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有　／　事業所等の形態：□ 建物の全部使用　■ 建物の一部使用
日本標準産業分類における細分類番号	6911　／　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 47	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 71	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 71	t

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	188,132.0	9.76	1,836.2	0.382	71.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 1,836.2		⑭ 71.9
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	700.7			0.200	0.1
	公共下水道		■	m^3	700.7			0.450	0.3
合　計									⑮ 0.5

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C806	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
		E114	高効率パッケージの採用		

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義														
事業所等の名称	銀座ｲｰｽﾄビル														
事業所番号						－									
事業所等の所在地	〒	1	0	4	－	0	0	6	1						
	中央区														
	銀座7-16-14														
事業所等の延床面積	1,832.97	m^2													
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有	事業所等の形態	□ 建物の全部使用 ■ 建物の一部使用												
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当									
前年度の報告内容からの変更点															

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 134	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 203	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 203	t

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	532,322.7	9.76	5,195.5	0.382	203.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 5,195.5		⑭ 203.3
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	1,530.9			0.200	0.3
	公共下水道		■	m^3	1,530.9			0.450	0.7
合　計									⑮ 1.0

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
	設備保守対策				
	設備導入対策				

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義
事業所等の名称	赤坂ビル
事業所番号	―　　―
事業所等の所在地	〒107－0052 港区 赤坂4-13-13
事業所等の延床面積	7,057.71 m^2
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
事業所等の形態	■ 建物の全部使用　□ 建物の一部使用
日本標準産業分類における細分類番号	6911
連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 858	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 1,302	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 2	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,304	t

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	2,377,344.0	9.97	23,702.1	0.382	908.1
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	1,033,176.0	9.28	9,587.9	0.382	394.7
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 33,290.0		⑭ 1,302.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,188.0			0.200	0.8
	公共下水道		□	m^3	4,188.0			0.450	1.9
合　計									⑮ 2.7

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義			
事業所等の名称	日本橋SOYICビル			
事業所番号				
事業所等の所在地	〒103－0016 中央区 日本橋小網町3-11			
事業所等の延床面積	1,273.80 m^2			
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有	事業所等の形態	□ 建物の全部使用 ■ 建物の一部使用	
日本標準産業分類における細分類番号	6911	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
前年度の報告内容からの変更点				

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 57	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 86	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 86	t

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	226,828.0	9.76	2,213.8	0.382	86.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 2,213.8		⑭ 86.6
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	1,063.9			0.200	0.2
	公共下水道		■	m^3	1,063.9			0.450	0.5
合　計									⑮ 0.7

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の使用状況の把握					
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E105	照明用人感センサの採用

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

1　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義		
事業所等の名称	ディアマークスキャピタルタワー		
事業所番号	－		
事業所等の所在地	〒 176－0012 練馬区 豊玉北6-2-1		
事業所等の延床面積	337.90 m^2		
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有	事業所等の形態	□ 建物の全部使用 ■ 建物の一部使用
日本標準産業分類における細分類番号	6911	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 60	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 92	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 92	t

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	241,956.0	9.76	2,361.5	0.382	92.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 2,361.5		⑭ 92.4
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	266.5			0.200	0.1
	公共下水道		■	m^3	266.5			0.450	0.1
合　計									⑮ 0.2

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握					
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
	設備保守対策				
	設備導入対策				

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義
事業所等の名称	新高円寺ツインビル
事業所番号	ー
事業所等の所在地	〒166－0011 杉並区 梅里1-7-7
事業所等の延床面積	8,098.33 m^2
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
事業所等の形態	□ 建物の全部使用　■ 建物の一部使用
日本標準産業分類における細分類番号	6911
連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 928	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 1,408	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 6	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,414	t

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	3,688,177.0	9.76	35,996.6	0.382	1,408.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 35,996.6		⑭ 1,408.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,413.6			0.200	1.9
	公共下水道		□	m^3	9,413.6			0.450	4.2
合　計									⑮ 6.1

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	不使用箇所のこまめな消灯	C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
				C507	温度計等による室温の把握と調整
	設備保守対策				
	設備導入対策			E122	給湯の温水配管の保温の実施

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義														
事業所等の名称	後楽鹿島ビル														
事業所番号						－									
事業所等の所在地	〒	1	1	2	－	0	0	0	4						
	文京区 後楽1-7-27														
事業所等の延床面積	1,294.12	m^2													
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有	事業所等の形態	□ 建物の全部使用 ■ 建物の一部使用												
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当									
前年度の報告内容からの変更点															

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 111	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 168	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 168	t

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	441,749.0	9.76	4,311.5	0.382	168.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 4,311.5		⑭ 168.7
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	1,080.9			0.200	0.2
	公共下水道		■	m^3	1,080.9			0.450	0.5
合　計									⑮ 0.7

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の照明消灯の実施
		C501	不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C119	自動販売機の不要時の停止
				C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
				C507	温度計等による室温の把握と調整
	設備保守対策				
	設備導入対策				

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

1　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義												
事業所等の名称	八重洲鹿島ビルディング												
事業所番号						－							
事業所等の所在地	〒	1	0	4	－	0	0	2	8				
	中央区 八重洲2-5-1												
事業所等の延床面積	9,170.80	m^2											
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有	事業所等の形態	■ 建物の全部使用 □ 建物の一部使用										
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当					
前年度の報告内容からの変更点													

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 528	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 792	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 797	t

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	4,704.7	45.00	211.7	0.014	10.7
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	1,868,004.0	9.97	18,624.0	0.382	713.6
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	178,154.0	9.28	1,653.3	0.382	68.1
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 20,489.0		⑭ 792.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,806.0			0.200	1.8
	公共下水道		□	m^3	8,806.0			0.450	4.0
合　計									⑮ 5.7

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	不使用箇所のこまめな消灯	C507	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更		
	設備保守対策				
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）

5　特記事項

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の設置事業者の氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役社長　中村　満義
事業所等の名称	鹿島本社ビル
事業所番号	―　　―
事業所等の所在地	〒107－8388 港区 元赤坂1-3-1
事業所等の延床面積	15,162.91 m^2
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
事業所等の形態	■ 建物の全部使用　□ 建物の一部使用
日本標準産業分類における細分類番号	0600
連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成21年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑬×0.0258）		① 663	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量（②=⑭）	② 1,003	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量（③=⑮）	③ 8	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,011	t

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑧	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	6,581.0	45.00	296.1	0.014	15.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	2,030,448.0	9.97	20,243.6	0.382	775.6
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	557,496.0	9.28	5,173.6	0.382	213.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑩ 0.0	0.382	⑫ 0.0
合　計							⑬ 25,713.3		⑭ 1,003.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	13,720.0			0.200	2.7
	公共下水道		□	m^3	13,720.0			0.450	6.2
合　計									⑮ 8.9

※1　電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。

※2　⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000　⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4　地球温暖化の対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A204	取組状況の点検体制の構築	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
				A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C501	不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C505	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C508	空室・不在時等の空調停止	C507	温度計等による室温の把握と調整
				C510	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E104	照明点灯範囲の細分化
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E106	高効率照明ランプの採用（屋外）

5　特記事項